

| | | | | | | | | | |
|--|-----------------------------------|-----|-----------------------------|-----|--------------------|-----|------|-----|------|
| 科目名 | 音楽ビジネススキル 1 | | | | | | | 年度 | 2025 |
| 英語科目名 | Business skills of music 1 | | | | | | | 学期 | 前期 |
| 学科・学年 | ミュージックアーティスト科 1年次 | 必／選 | 必 | 時間数 | 30 | 単位数 | 2 | 種別※ | 講義 |
| 担当教員 | 藤田美保 | | 教員の実務経験 | 有 | 実務経験の職種 | | 音楽教員 | | |
| 【科目の目的】 | | | | | | | | | |
| 音楽ビジネスに関する職種を理解し、アーティストとして活動する上で必要不可欠な著作権などに関する知識を習得することを目的とする。また、コロナ禍における音楽業界の動向や、SNSを使ったプロモーション戦略や収益の仕組みを知り、現代の音楽ビジネスに対応したスキルを身につけていく。 | | | | | | | | | |
| 【科目の概要】 | | | | | | | | | |
| 「アーティスト」と「社会人」の二つの考え方を中心軸に、ビジネススキルとキャリア形成について幅広く学んでいく。昨今の変化が激しい音楽業界のみならず、社会情勢にも対応できる知識を身に付け、課題提出では、通常授業の知識の定着を確認し、2年次には実際に音楽で収入を得る仕組みを自分なりに考案できるようにする。 | | | | | | | | | |
| 【到達目標】 | | | | | | | | | |
| A. キャリア形成について理解できる B. ブランディングについて理解できる C. SNSで収益を得る方法を理解できる D. スマホでの動画編集ができる E. データ分析ができる | | | | | | | | | |
| 【授業の注意点】 | | | | | | | | | |
| 専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方を持ち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。 | | | | | | | | | |
| 評価基準＝ルーブリック | | | | | | | | | |
| ルーブリック 評価 | レベル3 優れている | | レベル2 ふつう | | レベル1 要努力 | | | | |
| 到達目標 A | お金を稼ぐということはどういうことかを把握できる | | お金を稼ぐことについて考えることができる | | 到達目標Aについてさらなる努力が必要 | | | | |
| 到達目標 B | 業界マップに関して1種類の業種に関する知見を得る。 | | 1種類の業種に関する知見を得る。 | | 到達目標Bについてさらなる努力が必要 | | | | |
| 到達目標 C | 1年生前期における音楽業界での主要なニュースについての知見を得る。 | | 1年生前期における主要なニュースについての知見を得る。 | | 到達目標Cについてさらなる努力が必要 | | | | |
| 【教科書】 | | | | | | | | | |
| 適時、講師より教材を配布する。 | | | | | | | | | |
| 【参考資料】 | | | | | | | | | |
| 特になし | | | | | | | | | |
| 【成績の評価方法・評価基準】 | | | | | | | | | |
| 評価基準はルーブリック評価に基づき、試験50%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内提出物30%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する) | | | | | | | | | |
| ※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。 | | | | | | | | | |

